

開発事例【法人向けHDデータスイッチングLSI開発】



概要

複数の親ポート(端末側)からのデータを、複数のハードディスクブロックに転送するLSI。構成の変化や、いくつかのRAID設定に対応した設計。スイッチング機能にユニバーサルに設定できるテーブルを用いることで、回路規模の削減及び設定の自由度を向上。また、信頼性向上のため、FF壊れやパリティチェッカー等を置き、即座に壊れとその位置を検出できるように設計。

開発環境

[OS]Linux
[ツール]Visual Edit(ブロック・ダイアグラム)
NC-SIM、SIM-vision

